

評 議 員

評議員	朝日智司	(日本生命保険相互会社代表取締役副社長執行役員)
	阿部治	(立教大学名誉教授、元日本環境教育学会長)
	岡島成行	(公益財団法人日本環境教育フォーラム会長)
	沖修司	(公益財団法人国土緑化推進機構専務理事)
	桜井尚武	(公益財団法人大日本山学会参与)
	志村智子	(公益財団法人日本自然保護協会執行理事兼事務局長)
	近浩二	(株式会社星和ビジネスリンク代表取締役社長)
	手島恒明	(株式会社ニッセイ基礎研究所代表取締役社長)
	長谷川勉	(三機工業株式会社代表取締役会長)
	丸山温	(元日本大学教授)
	山村雅之	(東日本電信電話株式会社シニアアドバイザー)
	鷲谷いづみ	(東京大学名誉教授)

役 員 等

理事長	清水 一 朗	
常務理事	半田 康	(事務局長)
	長江 良 明	(企画事業部長)
理事	石川 幹 子	(中央大学研究開発機構教授・東京大学名誉教授)
	伊藤 敦 子	(東日本旅客鉄道株式会社常務取締役グループ経営戦略部長)
	小貫 裕 司	(王子ホールディングス株式会社取締役常務グループ経営委員)
	鹿島 紳一郎	(日本生命保険相互会社執行役員チーフサステナビリティオフィサー(CSuO)兼主計部長)
	蔵 治 光一郎	(東京大学大学院教授)
	佐藤 俊 美	(株式会社大林組代表取締役副社長執行役員)
	椎川 忍	(一般財団法人地域活性化センター常任顧問)
	巴 ひかる	(埼玉石心会病院泌尿器科顧問)
	沼田 正 俊	(一般社団法人全国森林レクリエーション協会理事長)
監事	山下 史 雄	(東海旅客鉄道株式会社常勤監査役)
	岩間 浩 史	(日本生命保険相互会社監査等特命役員)
会計監査人	田原 健一郎	(田原公認会計士事務所所長)

(2024年7月時点)

仙台市長より、「ドングリ学校」の取組みが環境維持に貢献しているとして感謝状をいただきました



“森林×脱炭素チャレンジ2022”にて、財団の取組みが評価され、林野庁長官賞を受賞しました



2024年度の活動紹介

森林づくりボランティア活動

日 程	場 所	活動内容
4/13	富津の森(千葉県富津市)	植樹
5/11	大田原の森(栃木県大田原市)	除伐
5/25	三朝の森(鳥取県三朝町)	植樹・下刈
6/ 8	別府の森(大分県別府市)	枝打
6/15	千年希望の丘(宮城県岩沼市)	下刈・枝打
6/29	山形の森(山形県山辺町)	除伐・枝打
7/27	北空知の森(北海道深川市)	下刈
9/ 7	土佐山田の森(高知県香美市)	除伐
9/14	盛岡の森(岩手県雫石町)	下刈
9/21	賀茂の森(広島県東広島市)	間伐
9/28	にっしんの森(北海道森町)	間伐
9/28	八木山の森(福岡県飯塚市)	除伐
10/ 5	美杉の森(三重県津市)	間伐
10/ 5	胎内の森(新潟県胎内市)	植樹
10/12	熱海の森(静岡県熱海市)	除伐
10/19	内灘の森(石川県内灘町)	下刈
10/19	浜松の森(静岡県浜松市)	下刈
10/26	美の山の森(埼玉県皆野町)	除伐・間伐
11/ 9	東阪の森(大阪府千早赤阪村)	間伐
11/30	鯛頭の森(宮崎県宮崎市)	除伐・枝打
12/ 8	熊本の森(熊本県熊本市)	除伐・枝打
12/14	長崎の森(長崎県長崎市)	枝打
1/11	八重瀬の森(沖縄県八重瀬町)	植樹

環境教育

名 称	場 所	備 考
森の探検隊	高尾の森(東京都八王子市) 国城の森(和歌山県橋本市) 社の森(兵庫県加東市)	自然観察 木工クラフト作成 そば刈り体験等
ふれあい森林教室	ESD学びの森(宮城県利府町)	全12回開催
ワークショップ	イオンモール幕張新都心 札幌駅前通地下歩行空間	間伐材を活用した 木工クラフト作成
夏休み・冬休み 工作体験	全国のニッセイライフプラザ	木の宝箱等を作成
小学校への 出張授業	愛媛県鬼北町内	樹木名プレート・ 木のしおりの設置 木工クラフト作成
ドングリ学校	仙台市若林区荒浜	ドングリの採取～植樹
ニッセイ緑の 環境講座	東京 大阪	有識者による講演

※2024年7月時点の予定です。最新の日程や詳細の情報につきましては公式ホームページやSNSをご確認ください

“ニッセイ支笏湖の森”(北海道)



“ニッセイ井手の森”(京都府)



公益財団法人  
ニッセイ緑の財団

NISSAY GREEN FOUNDATION

〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門NNビル8F  
TEL:03(3501)9203 FAX:03(3501)5713  
Mail: info@nissay-midori.jp

日々の活動の様子をホームページやInstagram, Facebook, Xで紹介しています。ぜひご覧ください!

ニッセイ緑 で 検索



ホームページ Instagram Facebook X



公益財団法人  
ニッセイ緑の財団について

当財団は、“緑の保護・育成に努め、もって幅広く環境の保全に資する”ことを目的に1993年に設立されました。サステナブルな社会の実現に向けた社会的関心が高まり続けているなか、当財団としても時代に即した新たな取組みを開始しました。

事業の柱である「森林づくり事業」においては、事業の開始から30年以上が経過し、多くの“ニッセイの森”が本格的な間伐期を迎えていることから、間伐の適切な実施に加え間伐材の積極的な利活用を進めています。また、地域の生態系保全に資する観点から、広葉樹を含め郷土樹種を積極的に取り入れた森林づくりを進めてきましたが、より視野を広げ、動植物の生育・生息を意識した生物多様性の保全に資する森林づくりにも取り組んでいます。

もう1つの柱である「森林を愛する人づくり事業」においては、多くの方々に森林づくりや自然環境への理解を深めていただけるよう、活動内容の充実を図っています。“ニッセイの森”を活用した森の探検隊などを学校の授業に組み入れていただくほか、“ニッセイの森”の間伐材を使った木工クラフトイベントや、樹木名プレート(樹名板)の寄贈などを通じた間伐材活用の意義に関する普及啓発を推進しています。

このような取組みや公式ホームページ・SNSなどを通じた情報発信により、当財団が、全国各地で森林を守り育てる人々が集い、学び、想いを交わす基点となることで、美しく緑豊かな森林と森林を愛する人々の心を、未来の地球へと引き継いでいきたいと願っています。

引き続き、皆様方のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

公益財団法人ニッセイ緑の財団  
理事長 清水 一朗

環境貢献度評価

森林は国土保全、水源かん養など様々な公益的機能を発揮しており、最近では地球温暖化防止の観点から二酸化炭素を吸収・固定する機能が大きく注目されています。林野庁では国有林内の「法人の森林」を対象として環境保全機能の一部を数量評価(下表参照)しています。

＜“ニッセイの森”の環境貢献度(2022年度単年分)評価＞

便益	詳細	物量	評価額(円)	内容説明
環境保全	CO <sub>2</sub> 固定	1,721 t/年	948.7万	○年間、約1,721tの二酸化炭素を吸収・固定しております。
水源かん養	流域貯水	252,685 m <sup>3</sup> /年	849.2万	○2リットル・ペットボトル換算で、年間、約1億2634万本分の降雨を貯水、その水質を浄化しております。
	水質浄化		3,082.9万	
山地保全	洪水防止	10,6541 m <sup>3</sup> /秒	3,212.4万	○毎秒、約10.6m <sup>3</sup> の洪水防止(河川に流出する水量の平準化)に貢献しています。
	土砂流出防止	5,749 m <sup>3</sup> /年	2,369.2万	
合 計	—	—	10,462.4万	—

# 森林づくり事業

◆当財団は、地域特性を踏まえた適地適木を旨として、スギ、ヒノキ等針葉樹の主要林業樹種(※)のほかナラ類、サクラ類等の多様な広葉樹を育成し、自生した郷土樹種の保全も図りながら、森林づくりを進めています。

※ 2003年から花粉症対策品種を取り入れています。

◆森林の健全な育成を通じて、水をはぐみ、土砂の流出を防ぎ、二酸化炭素を吸収するなど、環境保全に大きな役割を果たしています。

	箇所数	植樹本数	面積
北海道	20箇所	10.3万本	39.3ha
東北	32箇所	21.9万本	81.2ha
関東	26箇所	21.5万本	62.1ha
甲信越・北陸	15箇所	8.7万本	36.7ha
東海	23箇所	15.5万本	47.7ha
近畿	17箇所	9.6万本	33.1ha
中国	23箇所	14.5万本	49.9ha
四国	13箇所	8.3万本	31.4ha
九州・沖縄	40箇所	28.2万本	95.4ha
<b>全国計</b>	<b>209箇所</b>	<b>138万本</b>	<b>476.9ha</b>

(2024年7月時点)

2024年度  
施業予定

植 栽： 4箇所(約 4.2ha)  
除 伐： 8箇所(約21.1ha)  
下 刈： 10箇所(約14.9ha)  
間 伐： 10箇所(約24.9ha)  
枝 打： 2箇所(約 6.9ha)  
ツル切： 2箇所(約 5.7ha)  
鳥獣害防止： 1箇所(約 2.2ha)

2024年度  
踏査予定

83箇所

## 森林づくりボランティア活動

### 活動内容



● 国有林(分取造林方式)  
※隣接している場合は、まとめて表示  
● 公有林等(協定方式)



### 周辺環境の利用

森林の施業のほかに、“ニッセイの森”の周辺環境を利用し、活動の充実を図っています。



# 森林を愛する人づくり事業

◆森林づくりや自然環境への理解を深めてもらうことを目的として、“ニッセイの森”友の会(日本生命の役職員有志)や地域住民・他団体による森林づくりボランティア活動に加え、ふれあい森林教室などの環境教育にこれまでに **27万人以上** の方々に参加いただいています。

◆また、森に生育・生息する動植物を紹介する「学びの森の生態図鑑」をはじめ、公式ホームページ・SNSによるオンライン発信の充実にも取り組んでいます。

## 環境教育



## 樹木名プレート(樹名板)・木のしおりの寄贈



これまでに **1500以上** の学校・団体に寄贈しています。自然観察に加え、卒業記念としてもご利用いただけます。また、より簡潔にした幼児向けの木のしおりも準備しております。



## 公式ホームページ・SNSによるオンライン発信

